

令和 3 年度
地方公共団体における
食品ロス削減の取組について
＜事例紹介＞

消費者庁消費者教育推進課
食品ロス削減推進室

〔住民・消費者への啓発〕

「食品ロス削減マイスター」 養成講座の開催（福岡県）

福岡県では、地域において開催される学習会やエコクッキング教室などにおいて、食品ロス削減に関する実践的な内容を教えることができる講師役として「食品ロス削減マイスター」を養成することとし、そのための講座を全4回にわたって開催。

食品ロス削減マイスター養成講座の概要

目的

食品ロスに関連する制度や家庭における取組の紹介に加え、各業界における取組やエコクッキング教室など、実践的な内容を教えることができる「食品ロス削減マイスター」を養成する。

受講者

食品ロス削減に関心の高い県民 18名

プログラム（全4回）

- ・食品ロスに関する基本的事項
- ・国における食品ロス対策
- ・本県における食品ロス削減の取組
- ・飲食提供事業における取組
- ・食品小売事業者の取組
- ・本県におけるフードバンク活動
- ・家庭における食品ロスの発生原因と対策
- ・エコクッキング（実習）
- ・食品製造事業者の取組
- ・グループディスカッション、総括

マイスターの派遣

令和3年度に養成したマイスターを令和4年度から地域・学校・職場で開催される学習会等へ派遣。

《福岡県HP 食品ロス削減のスペシャリスト「食品ロス削減マイスター」養成講座を開催します！》

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/syokurossmeister.html>

ごみ減量キャンペーン （札幌市）

札幌市では、「#お買い物でエコササイズ」と「#脱プラでエコササイズ」をテーマに、「食品ロスの削減」と「使い捨てプラスチック製品の削減」を啓発するキャンペーンを実施。

食品ロス削減については、買い物前の冷蔵庫のチェック、買い物の際は小分け・ばら売りの活用、すぐ使うなら手前からと啓発。



お買い物の際に実践できる食品ロス削減のポイントを漫画で分かりやすく紹介。

《札幌市HP ごみ減量キャンペーン》

<https://www.city.sapporo.jp/seiso/gomi/genryo/ca/mpain-index.html>

エコクッキング動画による啓発 （福島県福島市）

福島県福島市では、同市の食品ロスの現状を発信するとともに、家庭で食品ロスになりがちな食材の保存方法や調理方法を、冷蔵庫整理術を伝授する冷蔵庫収納家に食品ロス削減アドバイザーとして活動いただき、連携して動画による啓発を実施。

動画内には、食品ロスの現状も紹介

《エコクッキング動画》



《福島県福島市HP 福島市食品ロス削減アドバイザーを設置しました》

<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/gomi-genryou/kurashi/recycling/gomidashi/1215.html>

〔子どもへの啓発・教育〕

ご当地ヒーローによる食品ロス削減の啓発（秋田県）

秋田県では、ご当地ヒーロー超神ネイガーを起用した食品ロス削減に係る啓発動画を制作。動画配信サイトで、食品ロス削減について周知。

食品ロスの問題、食品ロス削減クッキング、冷蔵庫のお片付けなど紹介。

《ネイガーと藤田ゆうみんの食品ロス削減クッキング（調理実践編）》



《食品ロス削減ソング編》



《秋田県HP 減らそう！食品ロス（食品ロス削減関連情報）》

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/63638>

食品ロス削減啓発オリジナルカードゲームの作成（京都市）

京都市では、小学生から大人まで幅広い世代が、食品ロスが発生する理由と、発生させないためにどのような行動をとるべきか、楽しみながら学ぶことができるカードゲーム「食品ロスZEROマスター」を令和2年度に作成し、活用。

《カードゲーム「食品ロスZEROマスター」》



各プレイヤーに6枚ずつ配布された「食品カード」を、食品ロス削減のテクニックが記載された「ヘルプカード」等の補助カードと合わせて順番に出していく、手元のカードが先になくなった（食品ロスを出さなかった）プレイヤーから順に順位を決定。

《京都市HP 食品ロス削減啓発オリジナルカードゲーム「食品ロスZEROマスター」》

<http://sukkiri-kyoto.com/oshiraseinfo/5164.html>

焼却施設見学による子どもへの啓発（静岡県島田市）

静岡県島田市では、一般廃棄物焼却施設である田代環境プラザで、児童を含む住人、企業・団体の施設見学を受入、食品ロスや環境問題について学習の機会を提供。

《田代環境プラザ》



児童・保護者とも気づきを得ている

【見学後の児童の声（一例）】

3Rを初めて知りました。地球温暖化を防ぐにはどうしたらよいかを考えたことがなかったので、家で話し合ってみたら「食べ残しを減らす」ことをしたいと思います。

【児童の保護者の声（一例）】

子どもからごみを減らすよう話を聞きました。まずは、食べ残しをしないように気をつけるようにします。また、一覧に載っている「ごみの減らし方」を参考に取組みたいと思います。購入時にごみが出ることを考えていなかったもので、再利用できるのかなど考えるようにしたいです。環境のことを考える機会になりありがとうございました。

《静岡県島田市HP 田代環境プラザ施設見学》

<https://www.city.shimada.shizuoka.jp/kurashi-docs/purazakengaku.html>

〔災害用備蓄食品の有効活用〕

県所有の災害時用備蓄食料の寄附に関する取扱要領の公表（長崎県）

長崎県では、使用期限が1年を切った災害時用備蓄食料等を廃棄することなく、有効活用を図るため、同県が所有する備蓄する食料等を寄附する場合の手続等について、必要な事項を定め、公表。

《長崎県ホームページ》

長崎県福祉保健部災害時用備蓄食料等の寄附に関する事務取扱要領

この要領は、「災害時の物資備蓄等に関する基本方針」において定める「7 保管・管理方法」の規定に基づき、使用期限が1年を切った災害時用備蓄食料等の有効活用を図るため、長崎県福祉保健部が備蓄する食料等を寄附する場合の手続等について、必要な事項を定めるものです。

【寄附可能な災害時用備蓄食料等】

- ・アルファ化米
- ・缶詰パン
- ・水（2リットル）

（手続き）

- （1）寄附を受けようとする団体等は、「災害時用備蓄食料等寄附申請書」により県福祉保健課宛申請する。
- （2）県福祉保健課は、審査及び決定を行い、「災害時用備蓄食料等寄附決定通知書」により寄附を受けたる団体等へ通知を行う。
- （3）寄附を受けた団体等は、「災害時用備蓄食料等受領書兼同意書」を県福祉保健課長に提出する。
- （4）寄附を受けた団体等は、食料等を処理した後、当該物資の使用、配布状況等について県福祉保健課に「使用報告書」により報告する。

要領のほか、寄附を受けたい団体等向けの申請書等を掲載、また、同県で寄附対象の備蓄食料等が発生した場合は、同ページ内に掲載される。

《長崎県HP 長崎県福祉保健部災害時用備蓄食料等の寄附に関する事務取扱要領》

<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/anzen-anshin/saigainisonaete/saigaibichiku/saigaibichikuyourixyou/>

賞味期限前の災害用備蓄食品を配布（名古屋市）

名古屋市では、災害時に備えて、非常食を備蓄。賞味期限が間近に迫り、更新を行った食品について、備蓄促進などの防災意識の啓発及び食品ロス削減の観点から、令和3年10月に市内法人・団体へ無償で配布。

《配布物資一覧》

品目	賞味期限	入数	配付数
飲料水 (500ml ペットボトル)	令和4年 5月まで	1箱あたり 24本	約1,260 箱
ビスケット	・令和4年 10月まで ・令和5年 10月まで	1箱あたり 100食	約350箱
きのこご 飯・わかめ ご飯・梅が ゆ（アルファ 化米）	令和4年1 月から6月 まで	1箱あたり 50食	約160箱

《配布対象》

市内の法人、団体（NPO、学校法人、社会福祉法人等）
※備蓄食品を指定場所に引き取りにきていただける方に限る

【配付例】

所属社員、職員、学生等に防災啓発を行うために配布
施設の防災訓練・研修の際に配布
飲食店やスーパーマーケット、ホームセンターなどを利用される方へ防災啓発を行うために配布 等

《名古屋市HP 賞味期限前の災害用備蓄食品を配布します》

<https://www.city.nagoya.jp/bosaikikikanri/page/0000145638.html>

いがいと！簡単 備蓄食活用チャレンジ（京都府福知山市）

京都府福知山市では、備蓄食のことをもっと知っていただき、ご家庭でも、ローリングストックの実践による備蓄や食品ロス削減について考えていただくきっかけになればと、同市の役割を終えた備蓄食を活用し、家庭で料理を実践してくれる住民等を募集。

《福知山防災レシピ例》



【チャレンジの概要】

令和4年3月11日配信の「備蓄食を活用したアレンジ調理動画」を、実際にご家庭で調理していただける方を募集。

同市は、申込み者に、同市保管の賞味期限の近づいた備蓄食をお渡し。

申込み者は、調理後の完成写真や感想等を提出すると、同市ホームページや市広報誌で公開される。

《京都府福知山市HP 「いがいと！簡単 備蓄食活用チャレンジ」を開催中！》

<https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/site/bousai/43302.html>

※現在、「いがいと！簡単 備蓄食活用チャレンジ」は終了しています。

〔フードバンク活動との連携〕

もったいない市の開催 (石川県)

石川県では、(公社)いしかわ環境パートナーシップ県民会議と連携し、食品の製造過程において発生する端材や型くずれ品などの規格外品を販売する「もったいない市」を開催。

《もったいない市の開催の様子》



また、もったいない市の売上の一部(150,000円)は、県内のフードバンク団体へ寄附される仕組みとなっている。

寄附者：株式会社ウフフ、株式会社オハラ、株式会社御朱印、株式会社中田屋、株式会社ぶどうの木

《石川県HP 食品ロス削減》

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/haitai/syokuhinloss/syokuloss.html>

《エコフェスいしかわHP もったいない市》

<https://ecofes.ishikawa.jp/participate/mottainai-ichi/index.html>

食品ロス等の削減に関する協定を 締結(相模原市)

相模原市では、食品ロス等を削減し、SDGsの目指す「誰一人取り残さない」持続可能な社会及び脱炭素社会の実現を目指すことを目的に、地元フードバンク団体及び保険会社と食品ロス等の削減に関する協定を、2020年10月8日に締結。

《協定概要》

保険会社が提供する運送保険「フードロス削減プラン」に加入した物流事業者が運送事故を発生させた際、損害品のうち条件を満たす(包装などが破損した)食品等を地元フードバンクに寄贈することで、食品ロス等の削減や、市内生活困窮者等の支援につなげる全国初の取組。

具体的には、運送中の事故で箱などが破損した食品をフードバンクかながわに寄贈する際、保管費や運送費が保険でまかなわれる。



《相模原市HP 公益社団法人フードバンクかながわ、三井住友海上火災保険株式会社と食品ロス等の削減に向けた協定を締結します!》

https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/_res/projects/default_project/_page/001/023/046/1001/02.pdf

食品ロス削減プロジェクトの実施 (滋賀県高島市)

滋賀県高島市では、令和3年に協働提案事業『食品ロス削減プロジェクト』として、フードバンクびわ湖たかしまとフードドライブ及びフードパントリー活動を実施。

本事業は、食べることができるにも関わらず捨てられる食品をフードドライブを実施することにより削減し、市民や事業者へ食品ロス削減の意識付けによる環境負荷の軽減を図ることを目的としている。

《フードパントリーに関するチラシ》



《フードドライブの呼びかけの様子》

《滋賀県高島市HP 令和3年度実施事業『食品ロス削減プロジェクト』》

<http://www.city.takashima.lg.jp/www/contents/1619429736775/index.html>

〔飲食店での啓発促進〕

冬季国体に向けた宿泊施設での食べきりの促進（栃木県）

栃木県では、2022年1月に開催した「いちご一会とちぎ国体冬季大会」において、選手等が利用する宿泊施設等に向け、食品ロス削減を促す三角柱ポップやポスターを配付。

食品ロスを削減することで、廃棄物処理に伴う環境への負荷を軽減することができ、この取組を通じて、料理の食べきりや食材の使いきりなど、食品ロス削減に向けた理解の促進を実施。

《啓発用三角ポップ》



外国人向けに英語でも記載

《啓発ポスター》

《栃木県HP いちご一会とちぎ国体 食品ロスの削減》

<https://www.tochigikokutai2022.jp/kankyo/foodloss/>

飲食店と連携した食べきりキャンペーンの実施（千葉市）

千葉市では、2021年6月下旬～7月上旬に、主にSNSを利用する世代に食品ロス削減を訴求するため、飲食店と連携して、「食べきり宣言」をSNSで発信した方に、「食べきりお箸」をプレゼントするキャンペーンを実施。

また、同年12月には、様々な年代に、ごみ減量・再資源化の普及啓発を行うため、「ごみ減量キャンペーン」を実施し、商業施設のフードコートで、食べきりを実践した方に、「食べきりお箸」をプレゼント。

《プレゼントの「食べきりお箸」》
洗って繰り返し使える木製お箸

6～7月に約200膳、
12月に約700膳を配布



《「食べきり宣言」をSNS発信する様子》

《千葉市HP 事業者と連携した食品ロス削減啓発》

<https://www.city.chiba.jp/kankyo/junkan/haikibutsu/tabekiri-campaign.html>

《千葉市HP ごみ減量キャンペーン》

<https://www.city.chiba.jp/kankyo/junkan/haikibutsu/gomigenryocampaign.html>

商業施設のレストラン街での啓発（東京都豊島区）

東京都豊島区では、食品ロスに積極的に取り組む区内飲食店を「豊島区食べきり協力店」として登録している。令和3年7月には、多くの利用者がある駅前の大型商業施設のレストラン街26店舗を登録し、各店舗で食べきりを呼びかけるステッカー、ポスター、ポップを掲示。

《レストラン街でのポスター掲示の様子》



《食べきりを呼びかけるポスター》

【大型商業施設の担当者の声】

旬の食材を取り入れた和食や洋食など各国のメニューをご用意しているレストラン街の強みを活かしながら、多くのお客さまへ食品ロスへの関心を高められるよう、豊島区と協力して食品ロス削減に取り組みます。

《東京都豊島区HP 食べきり協力店》

<https://www.city.toshima.lg.jp/151/1904261508.html>

〔飲食店での啓発促進の状況〕

食べ残しを減らす取組を実施している飲食店の店舗数を把握している地方公共団体は195、店舗数の合計は 22,586。
食品ロスを減らす取組を実施している小売店の店舗数を把握している地方公共団体は94、店舗数の合計は10,320。

食べ残しを減らす取組を実施している飲食店の店舗数を
把握している地方公共団体の数及び店舗数

飲食店舗	店舗数を把握している 地方公共団体の数	飲食店舗数
令和3年度	195	22,586
令和2年度	182	21,364
令和元年度	161	17,139
平成30年度	149	13,650
平成29年度	89	9,914

食品ロスを減らす取組を実施している小売店の店舗数を
把握している地方公共団体の数及び店舗数

小売店舗	店舗数を把握している 地方公共団体の数	店舗数
令和3年度	94	10,320

〔食品ロスの実態把握〕

事業系食品ロス実態調査 (三重県)

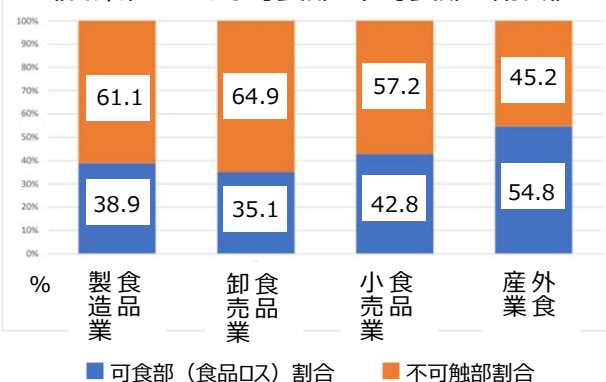
三重県では、事業系食品ロス実態調査を実施し、県のホームページに公表。

事業系食品廃棄物量の実績等のほか、削減に向けての課題などを掲載。

《事業系食品廃棄物量等の実績》

	食品廃棄物等		可食部 (食品ロス)		食品廃棄物等に占める食品ロスの割合
	トン	%	トン	%	
食品製造業	64,239	59.1	25,005	54.6	38.9
食品卸売業	9,416	8.7	3,308	7.2	35.1
食品小売業	14,331	13.2	6,136	13.4	42.8
外食産業	20,689	19.0	11,329	24.7	54.8
合計	108,675		45,778		42.1

《各業種における可食部・不可食部の割合》



《三重県HP 令和2年度三重県事業系食品ロス実態調査結果報告書》

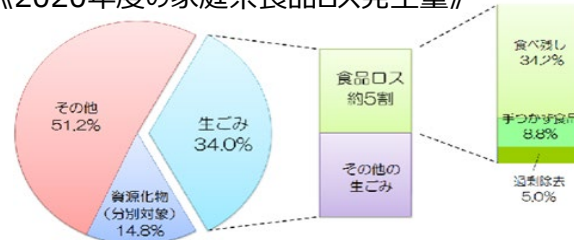
<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000959541.pdf>

家庭から出される食品ロス発生量 (横浜市)

横浜市では、ヨコハマ3R夢プラン推進計画(2018~2021)において、重点的に取り組むものとして、家庭から排出される食品ロスを20%以上削減(2015年度比)することを目標に掲げ、様々な施策を展開。

2018年度から家庭から出る食品ロス発生量を調査し、公表。

《2020年度の家庭系食品ロス発生量》



食品ロスの種類	食品ロス発生量 (約 万トン)		
	2018年度	2019年度	2020年度
食べ残し	66,500	63,300	66,000
手つかず食品	19,200	19,900	17,000
過剰除去	19,400	10,700	10,000
合計	105,000	94,000	93,000

※端数処理により、各項目の合計が食品ロス発生量と合わない場合があります。

《横浜市HP 家庭から出される食品ロス発生量について》

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/gomi-recycle/ongen/data/seisakuchosei/shokuloss2019.html>

食品ロスダイアリーによる調査 (北海道函館市)

北海道函館市では、各家庭で発生する食品ロスの排出実態や発生原因等を把握し、更なる食品ロス削減施策に活かすとともに、食べきりや計画的な買い物の重要性の周知を図ることを目的として、住民を対象にモニター調査を実施。

《食品ロスダイアリー》



未使用のまま捨てた食品や食べ残しの状況を日記形式で記録する「食品ロスダイアリー」により、世帯構成や廃棄した食品の把握、冷蔵庫等の整理・在庫確認、食品ロス削減に対する意識、捨てずに済む方法などを調査。

【モニターの調査の感想や気づいたこと(例)】

- 改めて記録をつけてみると、捨てていない週はないので、捨てることのないように工夫をしていきたい。
- 自分だけでなく、家族の意識も高まり、ご飯を残さなくなった。

《北海道函館市HP 令和3年度食品ロス削減モニター調査の結果について》

<https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2021083100027/>

【食品関係事業者との連携】

コンビニエンスストアと連携した「てまえどり」啓発（千葉県）

千葉県では、コンビニエンスストア約1,900店舗と連携し、食品ロスの削減に向け、買い物の際、購入後すぐに食べる場合には商品棚の手前にある商品を選ぶ「てまえどり」を呼びかける取組を実施。

《店舗での啓発の様子》



《参加企業（県内約1,900店舗）

- ・セブン-イレブン
- ・ローソン
- ・デイリーヤマザキ
- ・ファミリーマート

《千葉県 コンビニエンスストアと連携した「てまえどり」啓発》

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/3r/food/temaedor-convenience.html>

食品ロス及びレジ袋削減の取組協定（北九州市）

北九州市では、循環型社会の形成や地球温暖化の防止等を推進するため、小売事業者、市民団体、行政の三者連携による統一的な取組を実施することを目的に、「北九州市における食品ロス及びレジ袋削減に向けた取組に関する協定」を三者間で締結。

食品ロス及びレジ袋削減の取組の連携を実施。

- 協定事業者 6社（令和4年6月時点）
イオン九州株式会社
エフコープ生活協同組合
株式会社サンリブ
株式会社西鉄ストア
株式会社ハローデイ
株式会社マルキョウ



▶レジ袋削減の取組

令和2年の全国小売店等のレジ袋有料化に先駆け、平成30年6月から無料配布を中止（有料化）

▶食品ロス削減の取組

連携して食品ロス削減の取組を実施（期限切れ食品削減キャンペーン実施等）

【レジ袋削減の状況】

- レジ袋お断り率 R2年度79.6%、R3年度79.0%※
※スーパーを利用した顧客のうち、レジ袋を辞退した割合

【食品ロス削減の状況】

- ばら売り、量り売り、少量パック等による食料品の販売
- 閉店間際等の割引販売（売りきり）
- ポスター掲示等による、啓発活動の実施

《北九州市HP 「北九州市における食品ロス及びレジ袋削減に向けた取組に関する協定」について》

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyoku/01100108.html>

コロナ禍で行き場を失った食品の活用方法の提案（兵庫県川西市）

兵庫県川西市では、アップサイクル事業者と包括連携協定を締結。3分の1ルールなどで販路を失った加工食品や飲料、イベント中止等により生産過剰となった食品、規格外食品等を抱える地元の食品事業者などにアップサイクル事業者を活用できるよう紹介。

《川西市とアップサイクル事業者の提案例》

メリット ロスゼロが、お困りごと解決のお手伝いをします。

廃棄コスト↓

削減法対策

販路・顧客開拓

ブランドを守る

ラク!

ロスゼロに食品を送るだけ。

販売準備から配送まで全てロスゼロが行うからラク!



お問合せ頂き、詳細をご相談
(商品情報・賞味期限・数量など)

《医療現場で働く人へつながる笑顔の輪！ありがとうプロジェクト（川西市医療従事者応援事業）》

https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/kurashi/fukushi_kaigo/kenko/1013613.html

《企業と協力をしてフードドライブを実施しています》

<https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/kurashi/gomikankyo/recycle/1014342.html>

【その他】

埼玉県フードドライブ実施事例集の作成（埼玉県）

埼玉県では、令和3年10月1日から同年11月30日まで、「埼玉県県下一斉フードドライブキャンペーン」を開催。

当該キャンペーンの実施にあたり、フードドライブの取組が全県に展開されるよう参考として事例を紹介。

《埼玉県フードドライブ実施事例集》



実施方法の変更に伴って

上里町社会福祉協議会

ボックス設置で負担軽減！ 町民にも職員にもやさしいフードドライブ

受付期間 令和3年10月1日～11月30日
受付窓口 上里町社会福祉協議会

参加のきっかけ

上里町社会福祉協議会では、コロナ禍以前から社会福祉協議会の予算で食品を購入して食品の支援を行ってまいりました。コロナ禍以降は社会福祉協議会で購入した食品に加え、企業や住民から寄付を受けた食品等と一緒に提供できる活動になっています。今回のキャンペーンについては、既に実施している取組の中で対応できるものだったので参加することになりました。

実施方法や工夫点について

今回のキャンペーンへの参加を機に、食品等の寄付受付をボックス設置型に切り替えました。これまでは、寄付する方へ申込書を記入していただき、職員が封筒で確認の上、受領証を記入してお渡ししてまいりました。コロナ以降、食品等の寄付件数が増え、受付時の確認と受領証の交付が職員の負担となっていました。食品の寄付ボックスを設置することで、職員にとっては大きな負担軽減になりました。

また、寄付する方にとっても、一点二点の食品等で申込書を記入して受領証をもらわなければならないのは大変だったので、ボックスになって寄付しやすくなったという声も聞かれました。

課題や今後について

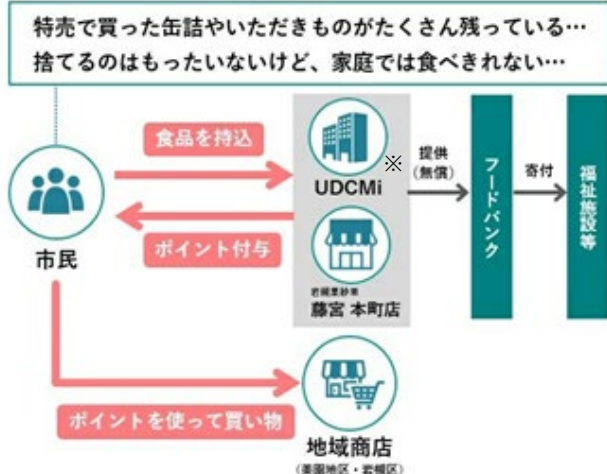
ボックス設置型に切り替えてから、週に1回程度の確認作業で済むようになりました。前の方の食品も寄付できるようなので、続けていきたいと思っています。今後は社会福祉協議会内に冷凍冷蔵庫を置き、冷凍食品の寄付にも対応していきます。

余った食品がポイントに「フードシェア・マイレージ」（さいたま市）

さいたま市では、家庭で余った食品を地域の施設や店舗に持ち込み（寄付）、食品ロスを削減するご協力いただいた住民等には、加盟店でのお買い物などに使える「地域ポイント」を付与する「フードシェア・マイレージ」の取組を実施。

施設や店舗に持ち込んだ食品は、地域の団体を経由して福祉施設などに寄付される。

《「フードシェア・マイレージ」の流れ》



食品を寄付した方は、寄付食品100g当たり1ポイントをもらえ、さいたま市の加盟店で1ポイント＝1円で買える物ができる。

※アーバンデザインセンターみその

《さいたま市HP 余った食品がポイントに！「フードシェア・マイレージ」実施中！！》

<https://www.city.saitama.jp/001/006/012/004/p060483.html>

食品ロス削減全国大会の開催（愛知県豊田市）

愛知県豊田市では、生産、流通、消費などあらゆる立場から食品ロスについて考え、その削減に向けた行動につなげていく機会とするため、「食品ロス削減の日」である10月30日に、「食品ロス削減全国大会in豊田」を現地とオンラインで開催。

《食品ロス削減全国大会チラシ》



《トークセッション》



プログラム

- (1) オープニングイベント
- (2) 開会
- (3) 食品ロス削減推進大賞表彰式
- (4) 基調講演
- (5) トークセッション
- (6) 閉会の挨拶

《愛知県豊田市HP 市制70周年記念事業「食品ロス削減全国大会in豊田」を開催しました!》

<https://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/gomi/recycle/1025962/1045901.html>

《埼玉県HP フードドライブについて》

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0507/fooddrive-cam-r3.html>